

筑北村 議会だより

第18号

平成20年11月21日発行

編集 筑北村議会だより編集委員
〒399-7601

長野県東筑摩郡筑北村坂北2187番地

電話 0263-66-2211

FAX 0263-66-3656

ホームページ

<http://www.vill.chikuhoku.nagano.jp>

本会議の映像はインターネットの
筑北村ホームページから
御覧になれます。

9月定例会

平成20年9月定例議会が9月9日から18日までの10日間の会期で開催されました。

議決された議案は、次のとおりです。

- ◆平成19年度各会計決算認定13件
- ◆地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例
- ◆筑北村認可地縁団体印鑑登録条例の一部改正
- ◆筑北村一般会計補正予算ほか特別会計補正予算10件

請願・陳情

☆請願

※少人数学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書 (採択)

※長野県独自の30人規模(35人)学級の拡大と県独自に教職員配置増を求める意見書に関する請願書 (採択)

☆陳情

※私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情 (採択)

※協同出資・協同経営で働く協同組合法(仮称)の速やかなる制定を求める意見書採択を求める陳情 (採択)

※朝鮮民主主義人民共和国への制裁措置の解除と日朝国交正常化協議の促進、早期の国交正常化実現の意見書採択を求める陳情 (資料配布)

意見書

議員発議により5件の意見書が採択され、関係各機関に提出されました。

※新たな過疎対策法の制定に関する意見書

※少人数学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書

※長野県独自の30人規模(35人)学級の拡大と県独自に教職員配置増を求める意見書

※私立高校への公費助成に関する意見書

※協同出資・協同経営で働く協同組合法(仮称)の速やかなる制定を求める意見書

平成20年9月定例議会

一般質問

裁判員制度について

宮澤信雄 議員

質問 裁判員候補者割り当て数が当村へも11名の割り当てがされた。村選管で、くじにより選出されるようだが、選出方法・日程・選出後本人をはじめ村民への対応について伺う。

村長 この制度は、平成21年5月21日から国民の皆さんに裁判員として刑事裁判に参加してもらい、国民の司法参加を実現する制度で

ある。選挙管理委員会でくじにより裁判員候補者を選ぶわけで、具体的には選挙人名簿により、投票区・投票区のページ・次にページに記載されている番号を選び決定する。名簿の提出は10月15日まで、村からは本人への通知は行わず、裁判所から12月に本人に通知がある。

6月の名簿登録者数は、4,881人で、443人に一人の候補者が選ばれることになるが、この関係については、プライバシーの関係もあり、裁判所が決めることで、村にはその権限はない。

質問 個人として断る場合に村からのフォローしてもらえるか。

村長 本人が選んでいくことでお願いしたい。

新型インフルエンザ対策について

質問 新型インフルエンザは、危機管理としてとらえていかなければいけない。村としてインフルエンザ対策なり現状を伺う。

保健福祉課長 県と連携を密にして、危機管理体制のもと、具体的な新型インフルエンザ対応マニュアル等の策定に向け検討していき

たい。今後も新型インフルエンザの基礎知識、感染予防対策、特に咳のエチケット、手洗いの励行等を含めて広報していきたい。

質問 65歳以上の人にインフルエンザ予防接種の補助がされているが、介護者への補助も含め予防接種対象者の拡大、自己負担の軽減など考えられないか伺う。

保健福祉課長 対象者の拡大は、今のところ計画はないが、内容を加味しながら今後検討する。介護者については、感染する可能性が高いので自己管理上接種しているという情報も聞かすが、現在計画はない。インフルエンザについて危機感を持って対応していかねければならないことと認識している。今後、慎重に対応していきたい。

関森村政の三年と 今後の決意について

質問 三年間の思いと残り一年の村・地域づくりへの決意を伺う

村長 自然に恵まれた安心と活力にあふれる村、小さくてもきらりと光る村づくりをモットーにきめ細やかな村政運営に邁進してきた。今後は、筑北村は一つとして、厳しい財政状況や地域経済状況を踏

まえて行政改革に取り組み、職員ともども山積する諸課題に全身全霊で取り組んでいきたい。

質問 次期村長への決意は。

村長 次期ということは、まだ考えていない。

高速情報通信網整備による 基本サービスについて

窪田一昭議員

質問 村民誰もが同じ条件で情報利用ができるように考えていると思う。

高齢者のみの世帯、母子・父子家庭、生活保護世帯等の家庭を対象に、テレビのデジタルチューナーの購入希望世帯に費用の一部を助成してはどうか。

村長 総務省では、全国107万の生活保護世帯を対象にした現物支給を予算要望すると聞いている。生活保護世帯については、要件的に把握できるので、村としても各種減免措置を適用するなど、対応している。その他の生活弱者については、把握が困難と思われる。高齢者世帯でも、子供さんが村外で働いていて経済的な負担は少なかつたりするケースもある。補助については、母子・父子家庭等も

含めてどこまでを対象にするかが検討課題である。今後、国の動向を踏まえた中で、慎重に検討していく必要があると考える。

火災報知機 全戸配置について

質問 消防法の改正で、住宅用火災警報器の設置が義務付けられた。筑北村総合計画の基本目標である「みんなが、安心して暮らせるむらづくり」の一環として、火災警報器の無償配布を全世帯に行うてはどうか。

村長 住宅用火災警報器の設置については、平成19年7月発行の「ホットスポットちくほく」への掲載や麻績消防署作成のチラシを全戸配布し広報してきた。最近では、区や常会単位で行われている初期消火訓練時に麻績消防署の職員の方にチラシを配布していただいているが、警報器の設置状況については把握していない。平成21年6月1日までに全世帯に設置していただく為に再度広報を行うと共に補助制度については少し期間もあるので検討していきたい。

質問 自衛消防隊の結成も考えられているが、安心の村づくりには

火災警報器と共に早期の整備が望まれる。来年度の予算には是非盛り込んでもらいたい。

村長 全世帯と言うことだが、8月31日現在2,031世帯の内、村営住宅、教員住宅等を除くと、1,854世帯になる。1台ずつとなると相当の金額になる。近隣の町村の状況も見ながら全世帯にするか、生活保護世帯や高齢者世帯にするのか期間内には進めていきたい。また、予算的な面も検討して進めていきたい。

文化財施設道補修・村道 立峠線路肩修繕について

市川辰男議員

質問 7月21日に、乱橋地区常会長と乱橋分館で、この事業への地元協力という事で砕石ならし、街道の支障木伐採、草刈りに16人の協力を得て実施した。昨年7月5日に村内環境整備という事で、同僚議員、村長、副村長に出席してもらい、立木をこの地に運び上げて水切りをし、草刈りを実施した経緯がある。大変ぬかるみだったことを思い出す。

この事業が完了したので、協力いただいた皆さんで8月30日に街

道を歩いた。あいにくの雨降りだったが、道はぬかっっていなかった。この少し前、益明けにはこの事業が完成するとの事で、8月17日にこの峠に登ってみたところ、焚き火の跡と、ビールの空き缶・買い物袋・タバコの吸殻等々が捨てられ、ゴミの山であった。また、一口ソクによって明りをとったのか、大量に溶けたものが散乱しており、いつの時代にも不心得者が後を絶ちません。これ等に対する対策は早期にという事で、今後の維持管理について伺う。

村長 地元乱橋地区の皆さんのご協力により工事が完了することができた。

峠の焚き火等の跡、捨てられたゴミ対策は、当面手づくりの注意看板を設置する予定でいる。この峠は松本市(旧四賀村)との境で、市の教育委員会へも実態を報告し対応を相談し、環境を壊さないような形で環境整備に協力を要請していきたい。また、この峠は善光寺街道であり、整備前、整備後も引き続き当時は偲び歩く方も多くなっている。来年は、善光寺も御開帳が予定されており、住民の関心もより一層高まってくるものと思う。

質問 この中で、焚き火の跡というのが一番懸念されるところだが、大事につながることはないよう一層の対応を望む。

そこで、関連だが、今話があったように、間近に迫った御開帳で、一段と行きかう人が多くなることと思われる。前にも申し上げているが、トイレ休憩、昼食等のみなぐる館の利用申し込みが増え、また、この集会所に寄り集う年配者も含めて、川砂利を引きつめてあるため、歩くの大変難儀し、冬の除雪も大変である。そこで、事業計画にもあるが駐車場の整備についての施行時期を伺う。

村長 駐車場の関係については、予算でも認めていただいている。今、設計の段階に入っているの、なるべく早い時期に実施したい。

障害者自立支援基盤整備事業について

山崎好弘議員

質問 急速に進む少子高齢化の状況の中で、障害者も高齢化に伴い障害の重度化、重複化など新たな課題も生じ、その対応も急務である。平成18年に施行された障害者

自立支援法に基づき、地域の実情を踏まえた広域的な見地から、筑北地域障害者福祉計画も設定されている。地域で暮らす障害者が気軽に来所でき、日中の活動の場として多目的な機能を持ちさらに、当事者活動及び相談支援機能を加えた障害者自立支援の核施設となり得る支援センターの建設は、当村にとつて重要な施設である。筑北村障害者支援に関する、あり方検討委員会より村長に対して要望・提言書が提出されている。平成21年度建設に向けて財政的に大変厳しいが、今後の進め方について伺う。

村長 障害者の自立支援法の施行に伴い、障害者福祉に対する市町村の責務が明文化され、一層の充実強化が求められている。本年6月には、筑北村障害者支援に関する、あり方検討委員会より提言書をいただいた。地域が丸となった福祉の村づくりに向けた障害者支援施策を推進しなければならぬ。非常に厳しい財政状況を見極めた上で、平成21年度を目標に提言された障害者の日中活動の拠点施設を建設したいと考え、準備活動を進めている。

筑北村福祉灯油購入助成事業について

質問 平成20年度は、原油高で7月より食品、ガソリン、日用品等値上げが相次ぐ中で、昨年度実施した低所得の高齢者・障害者に対する灯油購入費の助成を本年は早め実施すること。また、昨年度の灯油券の補助額は、5千円で交付実績世帯は247世帯である。灯油代は、9月現在前年対比35%アップであり本年度は、8千円を要望するが如何か。

村長 筑北村福祉灯油購入費助成事業については、19年度に限り生活保護世帯・高齢者世帯・重度障害者世帯・一人暮らしの老人世帯・重度要介護者世帯である低所得者に対して原油高騰に伴い緊急的に冬期間の灯油購入費の一部を助成し、生活の安定と福祉の増進を図った。現在の原油高騰の状況が改善されなければ昨年並みの助成を考えている。金額については近隣の市町村の動向を見て対応して行きたい。

地区集会施設の維持管理 と助成について

質問 当村の各区にある区民館等の施設の今後の維持管理及び修理費用について、少子高齢化・人口及び世帯減の中で、区民館・集会施設の維持管理が困難になっており、修理等に対して一定額の補助を要望するが如何か。

村長 合併前の事務事業一元化の調整の折、新築時に補助事業等を導入して建設しており、今後の補助制度は廃止となった。少子高齢化・人口減の中で維持管理が困難になっていることは事実であり、厳しい財政状況の中ではあるが、一定の基準をつくることも必要かと思う。今後検討していかなければと考えている。

男女共同参画と仕事と 家庭生活の調和について

滝澤千代江議員

質問 農山村の男女共同参画は、世論調査上低水準となっている。農山村特有の慣習やしきたりや、差別や偏見となり残っている。

自治体職員の共同参画は、仕事と家庭生活の調和が村民のお手本

であり理想像と思う。庁内における男女共同参画と仕事と家庭生活の調和に対応する理念と推進の考えについて伺う。

村長 平成18年4月、次世代育成支援対策法に基づき、事業主として公共団体に義務付けられた特定事業行動計画を定め、子育てと仕事の両立支援の取り組みを行っている。基本的に性別や家庭の事情により職務分担を区分するような考えは無い。

男性職員も含め育児時間や短時間勤務制を気軽に利用できる職場環境づくりが必要であるが、職員の意識改革も必要である。

質問 少子高齢化社会は女性の能力はもとより、女性の感性を生かした職場づくりがイコール地域づくりにも繋がると考える。勤続年数・年齢等から見ても女性課長職が少なくと感じているが如何か。

村長 行政職員の昇格基準は規則に規定されている。性別は全く関係なく勤務成績優秀で特に管理監督能力に優れた職員の任用を行っている。

質問 勤務優秀な成績・監督能力に優れた方を力説されると男女差の感情も入るのではと考えてしま

う。女性の感性を大事にしてほしい。女性職員にも奮起して、共同参画と仕事と家庭生活の調和の模範でありリーダーとなってほしい。

後期高齢者医療制度について

質問 75歳以上だけで運営する保険制度は、高齢化が進めば保険料の上昇で制度自体が運営できないと考えられる。現役世代が負担する支援金分はあるが、この制度は負担が増していく保険で、保険料を値上げしたくなければ医療費を減らすかそれが無理ならば医療の質を下げると思われる等問題点の多くを抱えながらのスタートとなった。この制度を見直しにつなげ良い制度として定着する考えについて伺う。

住民課長 急速な少子高齢化の進展の中、国民の安心が基盤である皆保険制度の維持、将来に渡り持続可能なものとするため医療費の過度な増大を招かない為に、経済・財政との均衡の取れたものとしていく。国民が負担可能な範囲とする仕組みを導入する必要があると考える。従来の老人保険制度は、医療費を払うだけで財政や運営責

任が不明確であった。今回の制度では、実施主体を都道府県単位に一元化、広域連合で責任ある保険者として運営の効率化を図った。制度発足にあたり問題視されたのは、非保険者への周知不足、国民健康保険や社会保険との関連等制度的に非常に複雑になったことも要因だ。80歳以上の方への制度周知にも非常に難しい面もあった。地方の意見を十分に尊重し、国が応分の負担する制度の見直しや高齢者の医療費負担等の連結や特別対策を実施する場合の円滑な制度運営のため、適切な情報提供と制度見直しにかかる電算システムの財政措置が将来に向けこの制度を堅持し高齢者の医療制度を守ると考える。

村内施設の利用状況と 今後の対策について

前山健治議員

質問 常に安全安心な食品を食べるということに関心が持たれている中で、加工施設が有効利用できればと思っているが、今後の対策・課題等如何か。

村長 今後管理運営を含めて、総合的に判断していかなければと思

っている。定着している利用体系に手を加えることは簡単ではないが、十分な検討と周知が必要だと思っている。

産業課長 どの施設も使える時期が限られている。空いた時期に何ができるか十分検討して利用・活用を図っていかねばと思う。料金の統一についても、課題だと思ふ。今後十分なPR等を行って行きたい。

質問 グリーン施設、民俗資料館また、市民農園についてはどうか。
学校教育課長 本城地域のグラウンドは、水はけが良くないため、利用者に不便をかけているのが実態であり、工事の予算確保、サブグラウンドをサッカー場としても利用できるようPRし、利用者数の増加を図っていきたい。

坂北地域については、高速道路から大型遊具等も見える立地条件等を有効に利用し、アイデアを出し集客を図る。

坂井地域の体育施設については、冠着荘とタイアップしながら利用増を図っていききたいと考えている。次に、民俗資料館の関係については、将来的には施設1ヶ所が理想だと思ふが、当面今の施設を維

持管理し筑北村の資料館として多くの方々に利用していただくよう鋭意努力していきたく考える。

村長 市民農園については、本城の田屋地籍の遊休農地を借り上げて今年4月に開園したが、利用状況は15区画中4区画だけとなっている。条件的には良い農園とは決していえないと思ふが、湿害対策等検討する課題も多々あると思つている。遊休地を積極的に利用してと、試験的に始めたが、地区の皆様さん何とかが一緒に盛り上げていた、できれば願っている。

教育のあり方検討委員会の 進行状況について

質問 合併したことによって、教育環境整備、小・中学校の統合は一番の関心事だと思ふ。統合も視野にいれてあり方を検討し、住民懇談会・保護者懇談・パブリックコメント等幅広く住民の意見を聞くところがあるが、21年9月に答申できるのか伺う。

教育長 4月から毎月一回定期的に会議を重ねている。11月頃より教育環境整備の課題について統合も視野に入れ、あり方を検討し見解をまとめる方向でいる。住民懇

談会、保護者懇談会等については、もう少し慎重に審議をしていきたくと思ふ。

質問 保護者があり方検討委員会に期待していることは、三村が合併したことによって一番のメリツトとしての関心事ではないかと思ふ。筑北村の今後を考える時、先送りするのはなく、なお一層のあり方検討委員会の進め方を、事務局、教育委員会で検討していただき、小・中学校のあり方の方向付けが前進することを要望する。

聖南中学生徒会環境整備 活動への住民ボランティア アに対し村の取り計らい

柳澤 忠議員

質問 小中学校の児童生徒による環境問題への取り組みが高まっている。中でも、聖南中学生徒会のアルミ缶収集の歴史は10年以上も続いており当初、登下校に集めたものを学校で処理し、その収益金を福祉に寄付していることを知

った住民が協力するようになった。子供たちは、手が凍える冬の朝、授業の始まる前や放課後の炎天下、買い取り業者が高値で引き取るための作業をしている。その収益金

は福祉に寄付しており、地域住民の協力量識が高まってきている。しかし、住民の中には中学生にあげたいが、自分の家で保管できないため仕方なくごみステーションに出してしまうのが現状だ。中学生にあげたいという住民の願いを叶える為、村としての良い方法を伺いたい。

村長 聖南中学校の生徒会では、地域に貢献できる活動としてアルミ缶回収を行い地域の方々との交流を持つことができたり、全校の団結力や自身の成長にも役立つている。生徒の減少が続く小規模校では、家庭や地域住民の協力が無ければできないのが現状だ。ゴミの収集目的を考えた時、村が責任を持って契約に従い収集するのが筋であると考える。ボランティアで収集するのであれば、ステーションに出す前に自宅にストックしておいていただき、収集するのであれば問題ないと思ふ。

質問 答弁を聞くと、中学にアルミ缶を届けたいと言う気持ちは私とかわりがないと受け止める。しかし、中学のアルミ缶回収は1年に二回だけ。半年のアルミ缶は各家庭で保管できないから、やむな

くゴミステーションに出してしま
う。このことの解決策を見出す為
に伺っている。

それでは、私としての提案を申
し上げる。ゴミステーションの横
にPTAあるいは住民ボランティア
アが、中学専用のアルミ缶収集ポ
ツクスを置き、収集して中学の活
動を応援していく方法は如何か。

村長 ステーション外のボランテ
ィアの収集なので地元の常会長さ
んの理解を得て収集することにつ
いては問題ありません。

質問 中学の伝統ある活動は、忘
れかけている社会に奉仕する精神
思いやりの心、地域住民とのふれ
あい、生徒同士の団結力、環境整
備、ゴミの減量化、リサイクルの
向上等幅広い教育の面で生かされ
ている。少子化で生徒が減少する
中では、地域住民・行政みんな
で子供たちを支えることが大事だ
と思う。過日、中学校にアルミ缶
し機が購入されたが、業者のアル
ミ缶の引き取り単価をお聞きした
い。

学校教育課長 昨年度は、キロ60
円でしたが、缶潰し機購入後はキ
ロ115円で業者が買っている。
質問 村には、収集業者からキロ

44円が入るが、中学生徒会はキロ
115円になる。この金額を子供
たちや住民が聞けば大変喜ぶこ
だと思う。全住民で子供たちを
援する体制づくりが整う事を願
うものである。

この他、交通安全対策推進協
会の設立、など三点を質問した。

坂井開発公社事業報告に ついて

山崎日出男 議員

質問 6月定例会で坂井開発公
社の収支報告をいただいた。しか
し内容が非常にわかりにくい。補
足資料として、一般村民にも報
理解出来る様な諸事業毎の収支
を9月9日に提出を受けたが、各
事業に対する費用対効果を村長
どの様に考えているかお伺いし
たい。

村長 財団法人坂井開発公社に
ついては、理事会及び評議員会の決
議によって、事業並びに予算・決
算の承認をいただいている。財団
法人という事で投資者の寄付行為
で設立されているが、資本金は3
千30万円。内訳は、旧坂井村が3
千万円。JAハイランド・商工会・
森林組合の各団体からそれぞれ10

万ずつ寄付された資本金で、合計
で3千30万円となる。よって当公
社は、現在独立した団体で6月定
例議会に於いて経営状況を報告し
ているが、経営内容は理事会及び
評議員会で審議されたものである
ので報告申し上げる。

防犯灯・街路灯の電気料 が坂井地域は村もち、他 地域は2本立てについて

質問 平成17年2月9日の合併協
議会の中で、承認された旧3村の
防犯灯・街路灯の扱いは、合併後
3年に至るも統一されていない。
同一村内でありながら不公平であ
る。昨年の9月議会で山崎好弘議
員が20年度からの実施を要望し、
村長はなるべく早くと答弁したが
いつから実施するのか。

村長 防犯灯・街路灯について、
村では現在台帳整備のために中
部電力の協力をいただき台帳の
照合作業を進めている。作業が
終了したらこれ等の内容を参考
に村づくりの検討委員会で意見を
聞き、今後の方針を定めたい。そ
の後、区長会等で内容を説明
し、ご理解をいただいた中で実
施したい。参考に申し上げます。

本城地域は364基の内99基が
村、その他が265基。坂北地域
では、297基その内80基が村、
その他商工会とか団体が214
基。坂井地域では、181基、そ
の他商工会で建てているものが
31基。その中で村が電気料を支
払っているものの月額、本城が
99基で、4万6,369円。坂北
が、80基で4万5,187円。坂
井では、181基の電灯に対し
3万2,000円になる。電気の
明るさ、距離など考慮に入れて検
討し、地元の皆さんのご理解を
いただき進めたいので、もうしば
らく時間をいただきたい。

議会視察報告

鹿児島県屋久島町を訪ねて

市川辰男 議員

去る9月29日屋久島町役場本庁
舎にて、日高町長・副町長・総務
課長の出迎えをいただき、屋久島
町の説明をお聞きした。

屋久島町は、人口約1万4千人
(町長は猿が2万、鹿が2万で獣
害に悩まされていると笑って話し
ていらっしやったが)、島の周囲

ホットスポットちくほく

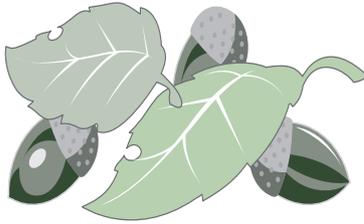
産業は、観光が主で農業は柑橘類とお茶、漁業はとび魚（日本一）、さば漁等を主としている。平成5年、世界遺産の指定を受け、それ以来トレッキングに來た観光客が移り住むなどして、観光案内や民宿等をしている。南部の温暖な氣候を活用し民間会社が転入者を受け入れるなど、全体としては、高齢化率27%で少子高齢化が進みつ



屋久島町での懇談会

100キロ強、国有林が島の80%を占めている。平成19年10月、上屋久町と屋久町とが合併し、ちょうど一年になること。

つあるが、人口は微増傾向にある。行政組織は、本庁と3支所、3出張所（診療所）で職員数213名、議員20名。実質公債比率18・8%で、歳入額の8割を交付税が占めている。町長は、合併して一年というのに機構改革を考えているという。住民サービスの低下をまねかないよう配慮しつつ、職員数の削減と本庁方式による組織の合理化を行い、財政の健全化を図りたいというのがねらいのようだ。



議会日誌



9月

- 3日 東筑摩郡議員大会
- 4日 地域交通会議
- 5日 議会全員協議会
社会福祉大会実行委員会
- 9日~18日 9月定例議会
- 12日 筑北村敬老会
- 20日 三小学校運動会
- 22日 リニア中央エクスプレス建設促進期成同盟会
- 23日 養護老人ホーム温心寮改築起工式・安全祈願祭
- 24日 国道403号期成同盟会中央要望
- 25日 県議長会政務調査会合同部会
- 26日 クリーンセンター決算監査
麻績村筑北村中学校議会
- 26日~27日 聖南中学きささげ祭
筑北中学文化祭
- 29日~10月2日 議会視察（九州方面）
- 30日 郡議員大会決議事項県へ要望

10月

- 1日 安曇野赤十字病院起工式
- 3日 東筑議員交流会 村営バス安全祈願祭
- 4日 三保育園運動会
- 5日 筑北村体育祭
- 7日 東筑副議長会
- 8日 松本地区育樹祭
- 9日~10日 松本広域連合消防委員会視察
- 18日 生坂村赤とんぼ祭
- 20日 筑北村農業委員当選証書付与式
青木村議会との懇談会
- 21日 県ゲートボール連盟東筑摩支部秋季大会
議会運営委員会 議会全員協議会
- 24日 教育委員・社会文教委との懇談会
- 26日 筑北村福祉大会
- 27日 穂高広域施設組合議会
- 28日 議会全員協議会 臨時議会
- 29日 暴力追放県民大会 温泉施設運営委員会